

2025年度岡山史料ネットの活動について

岡山史料ネット
✉ okayamasiryonet@gmail.com
🌐 http://okayamasiryonet.s1008.xrea.com/



岡山史料ネットは設立20年を迎えました

2005年9月、岡山史料ネットは、近畿で大きな地震の発生がつづくなか、将来の災害に備えて県内の関係者によって設立されました。2018年の西日本豪雨の際には約1,700点の資料をレスキューして修復活動を進め、現在は目録化等の調査をほぼ終えることができました。近年は寄贈いただいた下張り文書のはがしとり作業なども進めています。

この間さまざまご支援いただきました多くのみなさまに、改めて深くお礼申し上げます。



[左]初めての市民むけ講演会（2005年11月、県立記録資料館）、[中]西日本豪雨でレスキュー資料の修復（2022年1月）、[右]下張り文書のはがし作業（2025年6月）

活動報告会「能登半島地震といしかわ史料ネット」を開催



活動報告会での本多俊彦さん（2025年7月）

7月27日（日）に県立美術館で、今年度の総会・活動報告会を開催しました。

今回は、いしかわ史料ネット代表の本多俊彦さんをお迎えし、2024年1月の能登半島地震を受けて設立された、いしかわ史料ネットが国・県などと連携して進めてきたレスキューの様子や、救出した資料の保管・調査態勢といった今後の課題など、さまざまなお話をうかがい、参加者で意見交換しました。詳しくはニュースレター14号をご覧ください。23名が参加しました。

県ネット研修会に参加

11月26日（水）に岡山県文化財等救済ネットワークの研修会が県庁で開催されました。

今回は建築物への対応をテーマとするもので、鳥取県文化財課の松本絵理さんから、2016年鳥取県中部地震の際に倉吉市の重要伝統的建造物群保存地区でヘリテージマネージャーのみなさんと取り組まれた応急調査やその後の修復経過などについて詳しく伺いました。

関連して、県文化財課から危険度判定の制度やその課題について報告がありました。約40名が参加しました。



研修会の様子（2025年11月）

会員を募集しています

活動を支えてくださる会員（年会費1,000円議決権ありの会員と、年会費無料のサポート会員）を募集しています。どなたでもご参加いただけます。事務局までご連絡ください。（文責・松岡）